

ポーランド政治クロノロジー(2010年9月)

月	内政	外交・軍事
9月	<p>1日 第2次世界大戦勃発71周年式典(於:ヴェステルプラッテ)。</p> <p>1日 コモロフスキ大統領,リシェヴィッチ氏を大統領府官房長に任命。</p> <p>2日 「法と正義」(PiS)党内政務委員会,ミガルスキ欧州議員の党除名処分を決定。</p> <p>3日 2011年の政府予算案が成立。</p> <p>3日 PiS,トゥスク首相に対し,30項目の質問書を提出。</p> <p>5日 カチンスキ PiS 党首,党員に対し,自身の党首辞任を否定,党員の忠誠と結束を強化するよう書簡を発送し,党内管理強化を促す。</p> <p>5日 カチンスキ PiS 党首,政府によるスモレンスク事故に関する調査は,ロシアへの隷属であると,政府の対応を批判。</p> <p>6日 民主左翼連合(SLD),義務教育における「宗教」科目は憲法が規定する政教分離の原則に反するとして,国会での議論を要求。</p> <p>8日 PiS 党執行委員会,ヤクピアク PiS 議員の党員資格を停止。</p> <p>14日 トゥスク首相,4年後に「市民プラットフォーム」(PO)党首を退任する旨発言。</p> <p>14日 PiS,露とのガス協定に関し,パヴラク副首相兼経済相に対し不信任案を提出する予定である旨発表。</p> <p>15日 トゥスク首相,統一地方選の期日を11月21日と公表(市長選決選投票は12月5日)。</p> <p>15日 スヘティナ下院議長,PO院内総務のポストが次回党大会で廃止になる旨発表。</p> <p>16日 大統領府,早朝に大統領官邸前の十字架を,大統領官邸内礼拝室に移動。</p> <p>18日 欧州スペシャルオリンピック開催(-23日,於:ワルシャワ)。</p> <p>20日 トゥスク首相,次期議会選挙を規定通りに来年秋に実施する意向を示すとともに,SLDとの連立も可能と発言。</p>	<p>1日 コモロフスキ大統領,大統領就任後初の公式外国訪問(-3日,於:ブリュッセル,パリ,ベルリン)。</p> <p>2日 ラヴロフ露外相,ポーランド訪問。</p> <p>2日 ボルセヴィチ上院議長,シベリア訪問(-10日)。</p> <p>6日 トゥスク首相,インド訪問(-8日)。</p> <p>6日 シコルスキ外相,ルーマニア訪問。</p> <p>6日 エジェリ・ウクライナ国防相,ポーランド訪問(-7日)。</p> <p>6日 第18回国際防衛産業展示会開催(-9日,於:キエルツェ)。</p> <p>7日 アーヴィクソー・エストニア国防相,ポーランド訪問。</p> <p>7日 スタヴリディス欧州連合軍最高司令官,ポーランド軍アフガニスタン派遣部隊を訪問。</p> <p>8日 トゥスク首相,ベトナム訪問(-10日)。</p> <p>8日 第20回国際経済フォーラム開催(-11日,於:クリニツァ)。</p> <p>8日 クレーシ・パキスタン外相,ポーランド訪問。</p> <p>8日 第4回 ASEM 文化大臣会合(-10日,於:ポズナン)。近藤文化庁長官出席。</p> <p>9日 ラスール・アフガニスタン外相,ポーランド訪問。</p> <p>10日 ユンカー・ルクセンブルク首相,ポーランド訪問。</p> <p>10日 コモロフスキ大統領,クリフ国防相,第5回リガ会議に出席(-11日)。</p> <p>10日 シコルスキ外相,EU 非公式外相会合に出席(-11日)。</p> <p>10日 第23次 KFOR 派遣部隊の壮行式典開催。</p> <p>15日 トゥスク首相及びシコルスキ外相,特別欧州理事会に出席(-16日)。</p> <p>15日 デ・クレム・ベルギー国防相,ポーランド訪問。</p> <p>15日 マチャウスカス・リトアニア海軍司令官,ポーランド訪問。</p> <p>17日 世界チェチェン民族会議開催(-18日,於:ブトゥスク)。</p> <p>17日 ワルシャワ地検,国際指名手配されているザカエフ・チェチェン亡命政府「首相」の身柄を拘束するも,</p>

<p>22日 警察,消防,国境警備等の17団体,政府の予算削減計画に反対するデモ(於:ワルシャワ)。</p> <p>22日 PiS 政務委員会,統一地方選の主要都市市長選候補者リスト発表。</p> <p>22日 SLD,同性愛者差別を理由にラジシェフスカ男女平等担当大臣への辞任要求。</p> <p>23日 カチンスキPiS党首,コモロフスキ大統領が招集する国家安全保障評議会には今後出席しない意向を表明。</p> <p>24日 右派政党「ポルスカ・プラス」,党大会でPiSとの再合併を決定。</p> <p>25日 PO 党大会開催。</p> <p>25日 PiS 党内評議会開催。「ポルスカ・プラス」党員の復党を了承。</p> <p>26日 バス事故により13名のポーランド人観光客死亡(独・ベルリン郊外)。</p> <p>28日 スモリンスキ氏,大統領府補佐官(メディア担当)に就任。</p> <p>28日 政府,2011年予算案承認。</p> <p>28日 PO,統一地方選委員会を発足。ヴォイトヴィッチ PO 選対委員長が任命。</p> <p>28日 PiS,統一地方選委員会を発足。16地域別プログラムを提出予定。</p> <p>28日 SLD,現在の中絶法を緩和するための協議を要求。</p> <p>28日 国鉄労組による国鉄民営化を反対するデモ(於:ワルシャワ)。</p> <p>29日 国家安全保障評議会開催。政府要人の外遊時の安全対策について議論。</p> <p>29日 労組「連帯」及び全ポーランド労働組合連合(OPZZ)約8000人がデモ(於:ワルシャワ)。</p> <p>29日 トゥスク首相,ラジシェフスカ男女機会均等担当大臣の留任を決定。</p> <p>29日 コモロフスキ大統領,ノバク議員を国務次官(議会・政府調整担当)に任命。</p> <p>30日 コモロフスキ大統領,ラシュキエヴィッチ大統領府国務次官(法律問題担当)を任命。</p>	<p>裁判所の判断により,同「首相」を釈放。</p> <p>17日 クリフ国防相,ハンガリー訪問。</p> <p>17日 チェニユフ参謀総長,NATO 国防委員会会合に出席(-19日,於:ヴィソキエ・タリ)。</p> <p>18日 ポーランド・露・欧州議会代表,ポーランド・露ガス協定につき協議開始(於:モスクワ)。</p> <p>20日 シコルスキ外相,国連総会に出席(-24日,於:ニューヨーク)。日・ポーランド外相会談実施。</p> <p>21日 露より政府専用機の墜落事故に関する書類を受領(於:モスクワ)。</p> <p>22日 ダライ・ラマ14世,ポーランド訪問(-23日)。</p> <p>22日 ワルシャワ地方検察局,露からザカエフ・チェチェン亡命政府「首相」の身柄引渡し要請書を受領。</p> <p>22日 EU 戦闘グループ(ポーランド,リトアニア,ラトビア,スロバキア,独)の活動を総括する会合開催(-23日,於:ヴェンドウジン)。</p> <p>23日 カティンの森事件に関する審理文書20巻を新たに受領。</p> <p>23日 クリフ国防相,EU 国防大臣非公式会合に出席(-24日,於:ヘント)。</p> <p>25日 コモロフスキ大統領,ウクライナ訪問。</p> <p>25日 第10機甲旅団でアフガニスタン第8次派遣隊の壮行式典開催(於:シフェントシュフ)。</p> <p>27日 アフガニスタン派遣部隊の兵士1名死亡。21人目の犠牲者。</p> <p>27日 軍事演習「アナコンダ2010」開始(於:オジシェ,ウストカ,バルト海,-10月6日)。</p> <p>28日 ジトーミル(ウクライナ)に,CIS 諸国初のポーランド名誉総領事館開設。</p> <p>29日 ワルシャワ控訴裁判所,ワルシャワ地検の控訴を受け,10月26日にザカエフ・チェチェン亡命政府「首相」の身柄引渡しに関する審理を行う旨発表。</p> <p>29日 クリフ国防相,訪米(-10月1日)。</p> <p>29日 ビェニェク中将,NATO変革連合軍最高司令部副司令官に就任。</p> <p>30日 アザーロフ・ウクライナ首相,ポーランド訪問。</p> <p>30日 シコルスキ外相,EU モルドバ・フレンズ・グループ非公式外相会合に出席(於:キシニユフ)。</p>
---	--